

2013 10 October

NPO 法人がんサーネットジャパン

CNJ Speakers

Know (≠ No) More Cancer 私たちは、もっと伝えたい



No.
03

Special Talk / 三木恒治先生 × 川尾朋子 × 細井創先生
CNJ News / CNJ Report
Event Schedule 10月～12月
海外がん医療 TOPICS / 緩和ケアについて



京都在住の書家とがん専門医

小児がん・若年性がん患者にエール!

三木恒治先生

京都府立医科大学大学院医学研究科泌尿器外科学 教授。泌尿器科の中でも特に精巣腫瘍の治療に精力的に取り組んでいる。精巣腫瘍患者友の会「J-TAG (ジェイ・タッグ)」の発起人の一人でもある。

川尾朋子

京都在住の書家。6歳より書を学び、公募展や国際展で多数受賞。NHK 総合大河ドラマ「八重の桜」の6月のオープニング映像に代表作「呼応」シリーズが採用される。「Rock Beats Cancer」の題字の作者でもある。

細井創先生

京都府立医科大学附属病院副病院長・小児科診療部長、医学部医学科小児科学教室 教授、大学院医学研究科小児発達医学 教授。小児がん専門。行政や教育者たちと関わりながら、子どもの健康増進と環境改善にも取り組む。

小児がんや、若くしてがんと闘う若者に音楽を通してエールを送り、彼らの希望につながる新治療の開発支援と疾患啓発を目的にスタートとしたチャリティーライブ「Rock Beats Cancer (以下、RBC)」。第三弾は10月5日(土)に京都・東寺(京都市南区)で開催します。この趣旨に賛同し、イベントにご協力いただいている精巣腫瘍専門の三木恒治先生、小児がん専門の細井創先生、京都在住の書家・川尾朋子さんに、日本でも類をみないこのロックチャリティーライブについての思いや、小児がん・若年性がんの課題について伺いました。

がんチャリティーライブ 世界遺産・東寺で開催

―がん医療とロック(音楽)、医療者からみてどう感じますか

三木 最初は、「がんとロックになんの関係が?」と思い、正直驚きました。でも第一弾、第二弾の成功を聞き、医療者として、病気を治療するだけではなく、がんと闘う子どもや若者を勇気づけたいので、喜んで協力しています。

細井 私は高校生のころからロック少年でした。当時ロックは、はぐれ者、変わり者といわれる一部の若者の音楽でしたが、今や若者から初老までに愛される一大音楽ジャンルとして確立され、一つの文化になりました。小児がん・若年性がんも、成人がんに比べると希少疾患であり、社会的に十分認知されているとは言えません。かつてロックが社会の少数者や名もない人々の声を代弁し、勇気づけてきたように、小児や若年性のがん医療をサポートしていくことは意義深いことだと思います。

―川尾さん、RBCの題字(表紙参照)はどんな思いで書かれましたか
川尾 私が作品を作るときにテーマにしている「呼応(こおう)」は、筆が紙に着地しているところだけ

ではなく、点と点の間にある、空中での筆の動きも墨のしずくで表現しています。今回の題字も、一文字一文字のつながりを考え、これまでつながりのなかった人たちが、このライブを通して渦のようにつながっていくことを願って作製しました。がん体験者とがんを知らない人との出会い、あこがれのアーティストとの出会い…。このチャリティーライブを通して、いろんな分野の人が世代を超えてつながり、大きなムーブメントになることを期待しています。実はこの題字、大きさは畳三畳分ほどあるんですよ。

―川尾さんは第一弾、第二弾も参加されましたが感想は?

川尾 音楽を楽しみながらも、がんについて学べ、ライブに参加することが社会にもつながっていて、充実感を感じました。特にライブの途中で、がん体験者の生のお話が聞けたことが印象的で、がんを知るいい機会になりました。

―第三弾が世界遺産に登録されている東寺で開催されますが?

三木 京都のシンボルともいえる五重塔がある東寺で、ロックの野外ライブを行うのは初めての試みです。京都は古風な中に、新しいものを取り入れてきた歴史がある



小児や若年性のがん患者のためにお手伝いをさせていただけることを光榮に思っています。

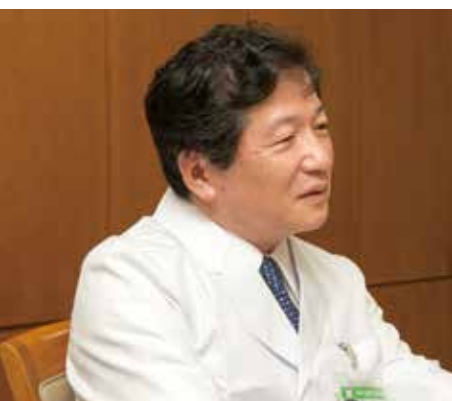
川尾 東寺は真言密教の宗祖である弘法大師空海ゆかりの大寺院で、京都府民にとっては「弘法さん」と呼ぶ親しみ深いお寺です。空海さんは書道の世界でも有名で三筆の一人ですし、高野山の石碑において司馬遼太郎さんは「日本の歴史上最大のエンターテイナー」と言っています。何でも受け入れ、どんどん新しいことをやった方なので、このロックチャリティーライブもきつと喜んでくれているはずですよ。書家としても、空海さんゆかりの東寺で開催されることをうれしく思います。

細井 京都は世界的にも注目される文化都市であり、また歴史的にも古くから多くの名医を排出し、我が国の医学・医療をリードしてきた学問的な街でもあります。その京都でこういったライブが開催されることをうれしく思います。昨今、京都府立医科大学附属病院は、厚生労働省から「小児がん拠点病院」に全国2位の高評価で指定されました。今から約140年前に、山本覚馬が構想した京都近代化政策の一つとして設立された同病院が、現代にまた新しい形で、

ので、今回の試みもすごくいいと思います。多くの方に参加してもらい、ロックを通して小児がんのこと、若年性がんのことを知ってもらいたいですね。そして若い人たちが、同世代の小児がん・若年性がんの人たちを理解して助けていく。そのことが、がん体験者が社会にもっと受け入れられる一つの礎になることを期待します。

「一人じゃないよ」 世代や立場を超えて応援

川尾さんは小児がん病棟で書道のワークショップを始められたとか？



川尾 細井先生のご協力で実現しました。私自身、昔から体が強い方ではないのですが、書道は一瞬の集中力で完成させることができ

ます。達成感があつて、形にも残せるものなので、その利点を生かして病気の子どもたちを勇気づけたいと思っています。ワークショップでは、二人で一つの作品を作ります。病気と闘う仲間同士や、お母さんと子どもなど、コミュニケーションの場になってほしいです。今後チャリティーライブやワークショップのように、書道を通じて、もっと世の中に関わっていききたいです。

三木 精巣腫瘍は20代から30代に多く、10万人に一人がかかると言われる希少がんです。今では9割は完治しますが、難治性のがんで抗がん剤が効きにくいタイプの方も多いです。その方たちをどう救っていくかが今後の課題です。また、完治される方が増えてきた分、就労の問題など、社会に復帰したサバイバーのサポートも重要です。京都府立医科大学附属病院では、精巣腫瘍の体験者によるピアサポートも実施しています。体験者同志が悩みを共有し、一緒に考え、助け合うことは大切です。私たち

医療者としても、どうサポートできるかを考えていきたいです。
細井 我が国の小児の病死順位の第一位を占めている小児がん。50年前は不治の病でしたが、治療開発が進み、今では標準的な小児白血病の場合、9割以上が治る時代に。しかし、今も生存率が50%に満たない小児がんもあり、これらの新しい治療法の確立が急務です。全国の小児がん専門医が協力し、血液がん、固形がんに限らず一緒に治療開発が出来る仕組みと、小児がん患者が網羅できる登録システム、さらに患者の長期フォローアップ体制の構築が必要です。また次世代のためにデータを残す臨床研究と、小児がん専門医の育成にも尽力していきます。
最後にがんと闘う若者にメッセージをお願いします
三木 治療中の若い患者さんに言いたいことは、「病気に負けるな！」です。治療はとても辛く弱気になったり、やめたいと思うこともあるでしょう。しかし、決してあきらめないでください。治療をやり遂げた先にある「寛解」という旗をつかみ取ってもらうために、私たちも全力で支えます。
細井 君たちの体験は決して楽しいとは言えませんが、乗り越えた



時、体験してない人には得られない大きな喜びと貴重な知恵が与えられるのだと信じています。良くも悪くも闘病中に感じたこと、社会復帰してから直面している問題点などを、自分の中だけにとどめず社会に発信していくことは、小児・若者だけでなく、高齢者も含めた我が国のがん医療、医療全体の向上への大きな力になると思います。私たちも応援します。

川尾 チャリティーライブを通して伝えたいのは、「一人じゃないよ」というメッセージ。あこがれのアーティストからの応援や、世代や立場を超えて集まったたくさんの方の観客の姿、集まった募金などを通じて、体験者に、みんなが応援していることを伝えたいです。
「ありがとうございます。RBCに、医療者や芸術家の方々に協力いただけることを大変うれしく思っています。」

文／御船美絵
撮影／山地憲太

Rock Beats Cancer FES

夏の空の下、

体を震撼させた

ロックライブ

Rock Beats Cancer



梅雨明けして猛暑となった七夕の7月7日、日比谷野外音楽堂で「Rock Beats Cancer FES vol.2 supported by チューリッヒ生命」が開催されました。これからの日本を、世界を担う、小児がんやAYA世代（15歳〜29歳）と言われる若くしてがんと闘う若者を、音楽・ロックを通して勇気づけ、彼らの希望につながる新治療の開発支援を目的に、「樋口宗孝がん研究基金（MHF）」から生まれた、日本では類をみないロックチャリティーライブの第2弾。当日は、数々の伝説のステージを生みだしてきた日比谷野外音楽堂に、世界的に活躍するハードロック

バンドLOUDNESS（ラウドネス）をはじめ、奥田民生、JAM Project（ジャムプロジェクト）、BABYMETAL（ベビーメタル）、LAZY（レイジー）など、そうそうたるメンバーが集結。2000名を超える皆さんに足を運んでいただき、夏の空の下、体を震撼させるロックミュージックを楽しみました。

ライブは午後4時にスタート。オープニングアクトを飾ったのは、オーディションを勝ち抜いたReplay（リプレイ）。続いて、九州発のアイドルLiQ（リンク）が登場し、会場は音楽に乗って振り回すタオルでいっぱい。BABYMETALのメタルサウンドと激しくも可愛いパフォーマンスで、会場はさらに一体になりました。続いて、「日本のアニソン界」で活躍する実力派シンガーによるユニットJAM Projectが登場。フアンの高揚感で充滿した場内が、熱気と興奮に包まれた後半戦、晴れた空が一変、大粒の雨が降り出しました。それはものすごい雨で、まるで樋口宗孝氏が天国から「今日のライブ最高だよ」を伝えるために振らせた感動の涙のよう。やっとう上がった夕暮れ前の空にはきれいな虹がかかり、会場は大きな感動に包まれました。この虹はきっと樋口宗孝氏の天国からのプレゼント。

そしてついに登場したLOUDNESS。体の芯まで響く爆音に観客は大盛り上がり。さらに奥田民生が登場し、LOUDNESSとの今宵限りのコラボで聞かせてくれた「イージー★ライダー」や「さすらい」は最高でした。また、AYA世代のがん体験者がステージに。若くしてがんを闘う現実があることを多くの人に知ってもらうため、ご自身の体験を話していただき、来場者にとって学びの時間もありました。最後は、LAZYを含めた出演者が集結。夢のセッションが披露され、最高潮の盛り上げの中、3時間半のライブは幕を閉じました。

ライブには小児・AYA世代でがんを経験した若者8名を招待しました。終演後には、がん体験者と出演者との交流の時間も。あこがれのアーティストと、お話ししたり写真を撮ったりする皆さんのいい笑顔が印象的でした。当日の参加者からのご寄付は46万3747円、Tシャツの売り上げとして14万8000円の計61万1747円のご支援を頂きました。これらのご寄付は、小児・AYA世代のがん患者支援を行う団体への助成金とさせていただきます。このライブの趣旨に賛同いただいた皆様、ありがとうございました。次は、10月5日（土）に京都で第3弾が開催されます。詳細はP5をご覧ください。

AYA世代のがん体験者8名を招待

「全身で音を浴び、体の芯を揺さぶるようなビートに身を任せて会場と一体となっている感覚が最高でした。これを力に明日からまたがんばろうと思います」
(21歳男性／ユーイング肉腫・14歳で罹患)

「ライブを通して一人でも多くの方にがんについて関心を持っていただき、少しずつでも支援が増えること、そしてこのイベントがもっと広がって続いていくことを願っています」

(20歳女性／ユーイング肉腫・15歳で罹患)

Rock Beats Cancer FES



「観客の数をみて、多くの人たちに私たちのことを知ってもらえることを心強く感じました。音楽を通じてたくさんの力をもらいました」
(24歳女性／骨肉腫・19歳で罹患)

「いつもがんばりたいときに聞く大好きな JAM Project の曲が聞けて感動しました。終演後にアーティストと交流できたことも嬉しかったです」
(22歳女性／滑膜肉腫・21歳で罹患)

「LOUDNESS の爆音を聞くと、自分が最強になった気分になり、悪いがん細胞も吹っ飛んでいくような気がします」
(27歳女性／胃がん・23歳で罹患)

「再発・転移は何度告げられてもすごく落ち込みます。でも大好きな音楽に触れているときは、すべてを忘れて楽しむことができ、私にとって欠かせない時間です。目の前のステージから直接パワーをもらっている気持ちになりました。楽しみながらも辛いことを思い出し、でも頑張ろうと思えて、思わず涙があふれた瞬間もありました」
(32歳女性／肺がん・26歳で罹患)

9月6日「もっと知ってほしい小児がんのこと 2013 in 福岡」を開催

9月6日に福岡にて小児がんセミナーを開催しました。小児がんの概要についてはチャイルド・ケモ・クリニックの楠木重範先生が講演。また、体験者の柳澤里弥さん(ユーイング肉腫)、井本圭祐さん(急性リンパ性白血病)の体験談を通し、それぞれの立場で「今、私たちにできることは何か？」を考えました。最後は、九州発のアイドルグループ「LinQ」がミニライブで、がん体験者を勇気づけてくれました。セミナーには118名が参加され、47,424円のご寄付が集まりました。

小児がん・AYA世代の
がん経験者支援の
レモネードスタンド事務局
を開設 <http://www.lemonadestand.jp/>



樋口宗孝がん研究基金では、8月30日、福岡の「LinQ」夏祭りにて、小児がん・AYA世代のがん経験者支援のため、レモネードスタンドを開きました。

Rock Beats Cancer FES Vol.3

Acoustic Session supported by Lilly Oncology

がんと闘う子どもやAYA世代(15～29歳)の若者たちに、音楽を通して勇気を与え、また小児がん支援・疾患啓発・研究支援を目的とするチャリティーイベントです。



【開催日時】2013年10月5日(土)

OPEN 17:00 / START 17:30

【場所】真言宗総本山 東寺 (京都府京都市南区九条町1)

【出演アーティスト】

影山ヒロノブ／二井原実／井上俊次

大槻ケンヂ／ROLLY／都啓一／久宝留理子
少年カミカゼ／いちむじん／遠山麻蘭／カラーボール (敬称略・順不同)

【チケット代金】S席 ¥6,800 / A席 ¥4,800

※プレイガイド一般発売中

詳細は <http://www.cancernet.jp/rbc/03>

Over Cancer Together ～がんを共にのりこえよう～ キャンサーサバイバーフォーラム 12月7日(土)秋葉原UDXで開催

CNJは、「Over Cancer Together ～がんを共にのりこえよう～」キャンパーンに運営団体として関わっています。これは、キャンサーサバイバー(Ⅱ)がん患者、家族、遺族、友人などが自分の体験を語り、その声を共有することで、のがん医療の課題を明らかにして、がんになっても生きやすい社会の実現を目指すものです。



自身の体験談をスピーチするワークショップも!

12月7日(土)には秋葉原UDXで、キャンサーサバイバーが自身の体験を語る「キャンサーサバイバーフォーラム」が開催されます。それに先駆け8月24日に、がん体験を効果的にスピーチする方法を学ぶ「サバイバースピーキングセミナー」が実施され、北海道から沖縄まで、19歳から69歳までの30名にご参加いただきました。



スピーキングセミナーでは、アメリカから来日された、米国対がん協会、リブストロング財団の方々が講義されました



8月24日に開催したスピーキングセミナーの参加者と記念撮影。皆さんいい笑顔です

このキャンペーンの詳細は
<http://www.ocfjapan.jp/>をご覧ください。

医療用ウィッグのレンタル 高品質で自然な医療用ウィッグ 女性・男性・子ども・部分用も!

患者にとって、外見に大きな変化をもたらす脱毛はとてもつらいもの。できるだけ自然に見えるウィッグを、経済的にも軽い負担で用意したいものです。

CNJではカノン(株式会社東京義髪整形)と共同で、医療用ウィッグのレンタルサービスを行っています。取り扱うのは、女性用、男性用、子ども用、そして部分用ウィッグです。株式会社東京義髪整形・代表取締役社長の中山雅史さん



丁寧に一本ずつ植毛。熟練の職人さんの丁寧な作業でウィッグが作られています



「トップの部分だけが気になる」など、脱毛状態に合わせた部分用ウィッグもレンタルできます

お問い合わせ・予約
CNJ医療用かつらテイルスお客様相談室
電話：0120(83)2081
メール：wig@cancernej.jp

は、「日本最初のウィッグメーカー」として産声を上げてから86年。皮膚科医との共同開発から、いち早く医療用ウィッグを製品化し、その通気性、軽さ、フィット感、耐久性などについて研究開発を続けてきました。その実績をもとに、より患者さんが利用しやすいようにレンタルサービスを行っています」と話します。国内に工場があるのは同社だけ。高品質の医療用ウィッグが、治療をサポートさせていただきます。

トしていきます。
レンタル料は1日あたり263円、初期費用1万5750円。「初めてのことでも不安も大きいでしょう。全国に相談や試着ができるサロンを展開していきますし、電話やメールでの相談も受け付けています。しっかりとサポートさせていただきます」と中山さん。まずはお気軽に電話やメールでお問い合わせください。



株式会社東京義髪整形・代表取締役社長の中山雅史さん

「もっと知ってほしい」シリーズ冊子 前立腺がんの冊子が9月に完成 患者さんの体験談も紹介！

日本イーライリリー株式

会社、毎日放送（MBS）、アフラック、アボットジャパン株式会社、アメリカンホーム保険会社、日本ベクトン&ディッキンソン株式会社などの協賛を得て作成している「もっと知ってほしい」シリーズの冊子。9月にはサノフィ株式会社の協力により、「もっと知ってほしい前立腺がんのこ」とが発刊されました。



冊子は全国のがん診療連携拠点病院の患者相談支援室（397施設）へ発送しています。病院で見かけた方は、ぜひ手にとってご覧

ください。がん診療連携拠点病院の患者相談支援室への「冊子・フライヤー・ポスター」についてのアンケート（2013年7月1日〜16日に実施）では、「患者さんが理解しやすい表現で書かれていて、がん相談時に活用しやすい」「体験者の声で紹介されているので、私だけじゃなくてみんな悩んでいるんだ」と患者さんの励みになっている」

などのうれしい感想を多数いただきました。また、「胃がんや大腸がんなどの新しい冊子がほしい」「患者さんへ配れるように配布冊数をもっと増やしてほしい」などのご意見も。貴重なご意見・ご要望にお応えできるよう努力していきます。

現在は、11冊を発行しました。「大切な人ががんになったとき」の冊子は、家族の方々からも「参考になった」との声をいただいています。冊子は下記から無料ダウンロードできます <http://www.cancernet.jp/publish>

樋口宗孝がん研究基金 小児がん患者を支援する3団体に 第一次助成金を交付しました

樋口宗孝がん研究基金で

は、2013年2月22日に大阪で開催された「Rock Beats Cancer FES vol.1 supported by チューリッヒ生命」（企画・運営／樋口宗孝がん研究基金・NPO法人キャンサーネットジャパン・MURROCK）におけるチケット収入・協賛金から、必要経費を引いた額を財源とし、小児がん患者及びAYA世代（15歳〜29歳）の若年性がん患者を支援する団体に、助成金の交付を行うことになりました。応募いただいた団体の中から選考委員会にて、第一次助成金を交付する3団体を決定（表参照）。7月7日の「Rock Beats Cancer

FES vol.2」で、団体を代表してNPO法人にこスマ九州へ目録が手渡されました。同基金では今後も若年性がん患者をサポートする団体を支援していきます。

団体名	主な活動	助成額
NPO 法人 チャイルド・ケモ・ハウス	小児がん患者・家族の支援活動	300,000円
NPO 法人 にこスマ九州	小児がん患者の支援活動	100,000円
NPO 法人 エスピーロー	小児がん患者の支援活動	100,000円

このイベントを機に、がんと向き合う女性たちがもっと輝けるように、私たちにできることについて、引き続き考えていきます。



当日の様子や参加者の感想はHPで紹介しています <http://www.sikyukeigan.net/female/makeup/>

HER2 station HER2 陽性乳がんセミナー 患者さん同士の交流も好評

全国4カ所をまわる「HER2 陽性乳がん患者さんに対する情報発信セミナー あなたにとつて最適な治療とは？」。定員を上回る申し込みをいただいた7月28日の東京を皮切りに、8月17日に名古屋、9月8日に福岡で開催しました。

東京では昭和大学病院乳腺外科の中村清吾先生、名古屋では愛知県がんセンター中央病院乳腺科の岩田広治先生、福岡では九州がんセンター乳腺科の大野真司先生にご登壇いただき、HER2 陽性乳がんについてや最新の治療情報について、ご講演いただきました。また、薬剤師による副作用対策についての講演も。HER2 陽性乳がん患者さんも登壇され、体験談や、孤独に病と闘っている患者さんに、「ひとりではないよ」というメッセージを伝えてくれました。参加者からは「HER2 のセミナーは初めてで、これほど専門的

な情報が得られる機会は貴重でした」「新薬の話が聞けて希望が持てました」との感想をいただきました。

講演後は、患者さん同士の交流の場として、ピアサポートサロンを開催。体験者同志、悩みを打ち明けたりアドバイスしあったりと、和やかな時間が流れていました。

東京は参加者141名・ご寄付1万5315円、名古屋は参加者81名・ご寄付5万6000円、福岡は参加者57名・ご寄付2万7026円でした。多数のご参加をありがとうございました。次回は11月17日(日)に大阪で開催します。詳細はP10を。



東京での中村先生を囲んでのピアサポートサロンの様子。セミナーの動画はCNJ HER2 特設サイトより配信中です

もっと知ってほしい肺がんのこと 東京で肺がんセミナーを開催 熱気にあふれる3時間でした

7月27日に東京で「肺がん疾患治療啓発キャンペーン」もっと知ってほしい肺がんのことが開催されました。

当日は、日本医科大学の弦間昭彦先生を総合座長にお迎えし、4名の専門医が肺がんの概要、外科的治療、放射線治療、薬物療法について講演。詳細で分かりやすい治療の話や具体的な症例の紹介、免疫療法や、ロボット手術についての動画なども紹介され、治療の情報在必死に求める患者やご家族の皆さんは、真剣な眼差しで聞かれていました。また、医療ソーシャルワーカーによる「がんとお金」の話もあり、がん治療を受ける上で知っておきたい高額療養費制度について学べる時間も。熱気が途切れることのない3時間でした。

先生方からは、「情報があふれる中、いかに正しい情報を選択するかが大切です」「病院や医療機器ではなく、診療する人間をしっかりと見て、いい医者を選んでください」とのアドバイスも。会場では、皆様から2万1810円のご寄付をいただきました。



会場からの質問に答えるQ&Aトークセッション。司会はTBSアナウンサーの秋沢淳子さんにご協力頂きました。セミナーの動画はCNJ 肺がん特設サイトより配信中です

ブルーリボンキャラバン2013 もっと知ってほしい大腸がんのこと 仙台で開催され134名が参加

6月27日、仙台にて「もっと知ってほしい大腸がんのこと」を開催。134名が来場されました。

東北大学病院腫瘍内科長の石岡千加史先生の開会挨拶からスタート。「第11回日本臨床腫瘍学会学術集会」会長でもある石岡先生は、宮城県内のがん啓発活動についてお話しくださいました。診断・検査・外科的治療・内科的治療について、それぞれの専門医が講演。外科的治療と内科的治療は、東北大学病院胃腸外科の大沼忍先生と、同病院腫瘍内科の高橋雅信先生に詳しくご講演いただきました。東京からは、大腸癌研究会会長の東京医科歯科大学大学院腫瘍外科学の

杉原健一先生と、石黒めぐみ先生が講演されました。参加者からは、「大腸癌治療ガイドラインが市販されていることを知り、治療を受けるにあたり今後役立つと思います」「担当医にはなかなか聞けないこともあり、今日のお話しを聞いて確認できました」などの声をいただきました。

皆様から2万2445円のご寄付と、グッズの売り上げとして2万1200円の計4万1445円のご支援をいただきました。



仙台でご登壇いただいた先生方。当日の動画も公開中です。セミナーの動画はCNJ 大腸がん特設サイトより配信中です

また、9月12日には大阪でも開催。当日は185名が参加され、2万4710円のご寄付をいただき、啓発グッズの売り上げは9300円でした。

次回は12月5日(木)に広島で開催。詳細はP10を。

ける上で知っておきたい高額療養費制度について学べる時間も。熱気が途切れることのない3時間でした。

先生方からは、「情報があふれる中、いかに正しい情報を選択するかが大切です」「病院や医療機器ではなく、診療する人間をしっかりと見て、いい医者を選んでください」とのアドバイスも。会場では、皆様から2万1810円のご寄付をいただきました。

ききました。

次回は、10月12日(土)に和歌山、11月3日(日)に大阪で開催します。詳細はP10をご覧ください。

MBS Jump Over Cancer

もつと知ってほしい前立腺がんのこと 開腹手術からダヴィンチ手術まで紹介

9月3日にMBS本社ビルにて、「もつと知ってほしい前立腺がんのこと」が開催されました。当日は滝のような大雨が降る中、スタッフの心配をよそに、90名もの方にご参加いただき、皆様の関心の高さを伺い知ることができました。

神戸大学大学院腎泌尿器科学分野の藤澤正人先生に

は、開腹手術から最新のダヴィンチ手術までを、実際の映像を見ながらお話いただきました。

またQ&Aセッションでは、サバイバーの上畑綱次さんにもご登壇いただき、治療のことから気持ちの持ち方についてご自身の体験を交えてお話いただき、最後には皆さんへ「勉強する

がん啓発に取り組むCNJの活動から

「NPOと企業の協働CSVを考える」 44名にご参加をいただきました

7月5日、「NPOと企業の協働CSVを考える」をテーマにセミナーを開催。CNJからは、NPOとして新しい価値を生み出すチャレンジ・模索を続けてきた活動報告と、今後の展望をお伝えしました。さらに、社会変革に貢献するNPOと企業の協働の在り方をテーマに、日

本ファンドレイジング協会 代表理事の鶴尾雅隆氏、メディアサイト株式会社取締役会長の村上修一氏にご講演いただきました。

当日はCNJのサポーターの方々以外にも、CSVに興味をお持ちの企業様、そしてNPOとして活動されている皆様を含めて44名のご参加をいただき、

ことは大切です」とのメッセージを残されました。

患者さんや、知識を得るために勉強に来られた方も熱心に聞き入っていました。次回「肝臓がん」です。詳細はP10を



セミナーの動画は、CNJのJump Over Cancer 特設サイトで配信中です



トークセッションの様子。セミナーの動画はキャンサーチャンネルで配信中です

TORG (胸部腫瘍臨床研究機構) × CNJ 「もつと知ってほしい肺がんのこと」 149名が参加し有意義な時間に

9月7日に、相模原市で「もつと知ってほしい肺がんのこと」を開催。149名の方にご参加いただきました。共催のTORGは、多施設共同の臨床試験を通して、肺がんの治療、とくに薬物療法について、より良い治療の開発を目指す医師のNPOです。

本セミナーでは、TORG (胸部腫瘍臨床研究機構)の先生方を中心に12名の座長・演者が、最近の薬物療法の進歩についての情報提供だけでなく、緩和ケアや、相談支援・患者サロンの情報など、多角的に患者さんをサポートし、「自分らしく」肺がん向き合っているためだけの講演とQ&Aをお届けしました。



TORG 理事長の渡辺古志郎先生の開会挨拶。会場は初めから熱気に包まれていました

がん情報ナビゲーター・乳がん体験者コーディネーター 認定者活動報告会&特別講演 全国から58名が参加しました

7月20日にがん情報ナビゲーター(CIN)と乳がん体験者コーディネーター(BEC)が集まり、フォーアアップ総会を開催。CIN2名とBEC4名の活動が報告されました。

また、「社会ががんとう向き合うために」をテーマに、国立がん研究センターがん対策情報センター長の若尾

文彦先生と、杉並区立和田中学校で「がんの授業」に取り組まれた、代田昭久前校長による特別講演が開催されました。




代田昭久先生には学校教育者のお立場からご講演いただきました

2時間では足りないほど充実した内容で、セミナー後の交流会も大盛況。参加者からは、「同じ認定者の方が、様々な場所で活躍されていることが励みになる」とのお声も。58名が参加され、6000円のご寄付をいただきました。



若尾文彦先生のお話をはじめ、セミナーの動画はキャンサーチャンネルで配信中です

各イベント・お申し込みは <http://www.cancernet.jp/event>**11/17 (日) 大阪** HER2 Station HER2 陽性乳がん患者さんのための情報発信セミナー 2013 in 大阪 ~あなたにとって最適な治療とは? 


HER2 陽性乳がんに特化したセミナーを大阪で開催します。兵庫医科大学病院 乳腺・内分泌外科 三好康雄先生に最新の治療情報を、兵庫医科大学がんセンターがん専門薬剤師 藤澤浩美先生に副作用対策についてお話しいただきます。

開催日/ 11月17日(日)
参加費/ 無料
時間/ 13:00 ~ 16:00
場所/ ブリーゼプラザ 801
(大阪市北区梅田2-4-9)**当日参加者には、
無料で冊子を
プレゼント!****講演後は患者さん同士が交流できる
ピアサポートサロンも開催!**特設サイト/ <http://www.cancernet.jp/her2station>
フェイスブック/ <https://www.facebook.com/Her2Station>**12/5 (木) 広島** BLUE RIBBON CARAVAN もっと知ってほしい「大腸がん」のこと 

ブルーリボンキャラバン 2013 のラストは広島。広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 教授 大段秀樹先生、広島記念病院 消化器外科 宮本勝也先生、県立広島病院 臨床腫瘍科 篠崎勝則先生、また東京からは、東京医科歯科大学大学院腫瘍外科学 教授 杉原健一先生、同病院腫瘍外科学 石黒めぐみ先生にご講演いただきます。

開催日/ 12月5日(木)
参加費/ 無料
時間/ 13:00 ~ 17:00
場所/ 広島国際会議場
(広島市中区中島町1-5)**いちむじんの
ミニ
コンサート
も開催!**特設サイト/ <http://www.cancernet.jp/brc>**10/12 (土) 和歌山** **11/3 (日) 大阪** 肺がん疾患治療啓発キャンペーン もっと知ってほしい「肺がん」のこと 

肺がんの概要、手術、放射線治療、薬物療法について、専門医が講演。和歌山では杉田孝和先生(日本赤十字社和歌山医療センター 呼吸器内科)を、大阪では中川和彦先生(近畿大学医学部 内科学 教室腫瘍内科部門)を座長に迎え、それぞれ4名の先生方が登壇されます。

開催日/ 10月12日(土)
参加費/ 無料
時間/ 13:00 ~ 16:00
場所/ 和歌山市民会館
市民ホール
(和歌山市伝法橋南ノ丁7)開催日/ 11月3日(日)
参加費/ 無料
時間/ 13:00 ~ 16:00
場所/ ブリーゼプラザ
小ホール
(大阪市北区梅田2-4-9)特設サイト/ <http://www.cancernet.jp/lungcancer>**10/27 (日) 大阪** ~もっと知りたい私の乳がん~ もっと知ってほしい「乳がん」のこと 2013 in 大阪 

「乳がんの概要」「遺伝性乳がん」「トリプル・ネガティブ乳がん」「再発乳がん治療」について学べるセミナーです。高塚雄一先生(兵庫医科大学病院)、玉木康博先生(大阪府立成人病センター)、佐治重衡先生(京都大学大学院医学研究科)、中山貴寛先生(大阪府立成人病センター)が登壇されます。乳がんについてもっと詳しく知りたいという方はぜひ。

開催日/ 10月27日(日)
参加費/ 無料
時間/ 13:30 ~ 16:50
場所/ ブリーゼプラザ小ホール
(大阪市北区梅田2-4-9)総合司会は豊島美雪
アナウンサー**10/22 (火) 大阪** **11/26 (火) 大阪** MBS Jump Over Cancer もっと知ってほしい「肝臓がん」「胃がん」のこと

MBS(毎日放送)とCNJが協働で開催している「もっと知ってほしいがんのこと」。10月は肝臓がんセミナーを、11月は胃がんセミナーを開催。情報があふれている時代だからこそ、正しい情報をお伝えしていきます。セミナーの様子はLIVE配信するので当日インターネットからも見られます。

肝臓がんセミナー
開催日/ 10月22日(火)
参加費/ 無料
場所/ MBS AV ルーム
※詳細は決まり次第 HP で発表**胃がんセミナー**
開催日/ 11月26日(火)
参加費/ 無料
場所/ MBS AV ルーム
※詳細は決まり次第 HP で発表特設サイト/ <http://www.cancernet.jp/mbscnj>過去のセミナーはチャンネルで視聴できます/ <http://www.cancerchannel.jp>

緩和ケアは、かつては一般的に終末期のケアと位置づけられていましたが、その目的は、あらゆる病期において、がんやその他の疾患で起こる身体的、精神的、日常的な問題を軽減することです。癒しや QOL（生活の質）を重視し、症状を軽減するための医療ケアが中心です。

緩和ケアの内容と、緩和ケアを受ける方法を理解することで、がんサバイバーとしてどの段階でも、緩和ケアを QOL の改善に役立てることができます。緩和ケアは、幅広い問題に対応するため、医療以外の他の専門家も含めたチーム医療として、医療機関、生活介護付き施設、訪問医療ケアを通して提供されます。さまざまな種類の緩和ケアがあるので、担当の医療チームと相談し、自分に適したケアを活用しましょう。

がん診断時や治療中の緩和ケア

- ・がん治療関連の副作用に伴う身体的症状の緩和
- ・交通手段や医療保険、介護など日常的問題への相談
- ・事前指示書など法的事項の支援
- ・リハビリテーション・サービスの立案
- ・精神的支援

がん治療後の緩和ケア

- ・治療後の QOL 向上のため、がんサバイバーと家族への継続的支援
- ・がんサバイバー個人の身体的、精神的、および日常的ニーズに対応する各種制度

ホスピスにおける終末期緩和ケア

- ・身体的、精神的、スピリチュアルな癒しなど、可能な限り QOL を向上させるケア
- ・疼痛（とうつう）緩和とその他の症状の管理
- ・余命 6 カ月以下のがんサバイバーと家族、友人らに対するホスピスケア
- ・葬儀や告別式の立案
- ・グリーフ（喪失・悲嘆）カウンセリング、死別カウンセリング

緩和ケア専門家の例

医師、看護師、ソーシャルワーカー、疼痛専門医師、理学療法士、作業療法士、栄養士、マッサージ療法士、補完療法士、心療科医、カウンセラー、スピリチュアルまたは信仰に基づく指導者、グリーフ（喪失・悲嘆）カウンセラー、死別カウンセラー、弁護士など

情報提供 / LIVESTRONG.COM、海外癌医療情報リファレンス ※ LIVESTRONG.COM は、リブストロング財団の公式サイトです

本誌の感想、CNJ に期待すること、今後開催してほしいセミナー、参加されたセミナーの感想など、皆さまからのお便りを募集しています

お便りは、ハガキとメールで受付中！
E-mail : info@cancernet.jp
〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2 階
[NPO 法人キャンサーネットジャパン読者の声係] 宛て



看護士

古屋・HER2セミナー参加/女性
◆若いがんサバイバーの方が強く生き、活動している生の体験を聞く事ができてすごく感動しました。がんサバイバーの方々の声をどんどん聞いていきたいと思いました。(名加/家族)

◆父が受けた治療の副作用が、誰にでも出る症状だと分かり安心しました。(東京・膀胱がんセミナー参加/家族)

◆甲状腺がんのセミナーはあまりないので、参加できて良かったです。患者会に参加しながら、不要な恐怖心を持たずに過ごしていきたいと思いました(東京・甲状腺がんセミナー参加/女性・患者)

◆セミナーのアンケートから、参加者の皆さんの声を紹介します。

みんなの声 Users Voice

CNJ Speakers 季刊誌 2013 年 Autumn
発行日 / 2013 年 10 月
編集発行 / NPO 法人キャンサーネットジャパン
〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2 階
電話 / 03-5840-6072 FAX / 03-5840-6073
E-mail : info@cancernet.jp
ホームページ : http://www.cancernet.jp

次号 予告 CNJ Speakers 4 号は 2014 年 1 月発刊です



藤原 麻子
肺がん・乳がんセミナー担当。現代アート好きなスタイリスト兼スタッフ。イラストは、イメージです

◆ CNJ 美化推進委員の藤原です。美化委員長とスタッフから呼ばれています。今のオフィスは、2007年に御茶の水に事務所を開設してから4軒目、ようやく外観が綺麗なオフィスになりました。しかし綺麗なオフィスでも、使う人で中身は変わります。ショールームのように美しいオフィス空間を目指していますが、理解してもらえないスタッフと日々闘いながら仕事しています(笑)。段ボールとゴミに囲まれて仕事するなんて…(泣)

スタッフの声 Staff Voice

Pick Up! **がん情報ステーション** 東京・大阪のがん情報ステーションでは、がん体験者や CNJ プロフェッショナルボランティアによる、患者・家族向けのプログラムを実施中です。

若年性乳がん患者のためのおしゃべり会

20代・30代の乳がん患者ならではの悩みを、同世代の仲間と語り合いませんか。恋愛・結婚・出産のこと…、テーマは自由です。

対象者 / 35歳までに発症した若年性乳がん患者 (東京・大阪共通)

場所 / がん情報ステーション東京
実施日 / 毎月第1水曜
19:00 ~ 20:30
参加費 / 500円

場所 / がん情報ステーション大阪
実施日 / 随時
(予約リクエスト後、日程調整)
参加費 / 500円



ほかにもいろいろ開催中! <http://www.cancernet.jp/station> (各申し込みや詳細などもコチラから)

“インターネット動画配信で学ぶ”

もっと知ってほしい「血液のがん」のこと

10/31 (木) 公開「思春期小児と若年成人 (AYA) 世代の血液のがん」

(講師: 佐倉 徹 群馬県済生会前橋病院 血液内科)

11/30 (土) 公開「骨髄異形成症候群 (MDS)」

(講師: 半田 寛 群馬大学大学院生体統御内科学 血液内科・腎臓リウマチ内科)

12/31 (火) 公開「悪性リンパ腫 (ホジキンリンパ腫)」

(講師: 錦織 桃子 京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学)



<http://www.cancernet.jp/hematologiccancer/>

“Meet the Expert がん専門医に訊く”

もっと知ってほしい「がん」のこと



10/19 (土) 「卵巣がん」

講師: 勝俣 範之 日本医科大学武蔵小杉病院 腫瘍内科

11/16 (土) 「精巣腫瘍」

講師: 三木 恒治・中村 晃和
京都府立医科大学附属病院

12/21 (土) 「食道がん」

講師: 大幸 宏幸 国立がん研究センター東病院 食道外科

参加費: 無料

駅から3分
秋葉原 UDX
で開催

<http://www.cancernet.jp/event/udxopencollege>

CancerChannel



患者・家族・支援者・医療者のための
新しいがん医療情報のカタチ。

サイトの閲覧はすべて 無料

がん医療セミナーやがん医療情報の映像を web* から配信。
スマートフォンやタブレットからも閲覧できます。(*Ustream・Youtube mediasite)

※スマートフォンやタブレットからのUstream、Youtube閲覧には専用のアプリのインストールが必要です。

<http://www.cancerchannel.jp>



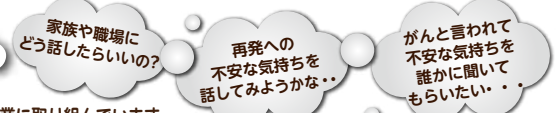
CNJ のもっとわかる出版物のはなし

<http://www.cancernet.jp/publish>

無料でダウンロードできます!

がん体験者によるピアサポート

平成 22 年 7 月から、神奈川県との協働事業により、「がん患者とその家族をサポートするための相談 (ピアサポート)」事業に取り組んでいます。



開催 場所 日時	横浜労災病院内 (横浜市港北区小机 3211) NEW	火曜	10 時 30 分 ~ 15 時 00 分	面接相談 (電話での相談は行っていません。)
	ピアサポートよこはま (横浜市神奈川区台町 7-2 ハイツ横浜 715 号)	水・金曜 水曜	10 時 00 分 ~ 14 時 30 分 17 時 00 分 ~ 20 時 30 分	電話相談および面接相談 電話: 045-313-1331
	相模原協同病院内 (相模原市緑区橋本 2-8-18)	第 1・3 水曜 第 2・4 土曜	10 時 00 分 ~ 15 時 30 分 9 時 00 分 ~ 11 時 30 分	面接相談 (電話での相談は行っていません。)
	横須賀共済病院内 (横須賀市米が浜通 1-16)	木曜	10 時 00 分 ~ 15 時 00 分	面接相談 (電話での相談は行っていません。)
	大和市立病院内 (大和市深見西 8-3-6)	金曜	10 時 00 分 ~ 14 時 30 分	面接相談 (電話での相談は行っていません。)



美恵ママ・乳がん基金

美恵ママ・乳がん基金は
チャイルド・ライフ・スペシャリスト
育成・普及のため、皆様から
のご支援をお待ちしております。

チャイルド・ライフ・スペシャリスト (CLS) とは、
病児 (小児がん等) の子どもと家族を精神的にサポートする専門家のことを言います。

詳しくは、特設サイトにてご確認ください。

<https://bokinchan2.com/cnj/miemama/bokin/page0.php>



樋口宗孝がん研究基金

Munetaka Higuchi Foundation
for Cancer Awareness and Research

樋口宗孝がん研究基金は、2008 年 11 月 30 日、肝細胞がんで逝去した
日本のハードロック界を代表する LOUDNESS (ラウドネス) のドラマーであっ
た樋口宗孝氏の偉業を後世に伝え、日本におけるがん疾患啓発・がん研
究を推進するために設立されました。

<http://www.cancernet.jp/mhf4car>



会員 寄付 募集

NPO 法人キャンサーネットジャパンは「患者擁護
の観点から、科学的根拠に基づくあらゆるがん医
療情報の発信とがん疾患啓発を行うこと」をミッ
ションとして活動する特定非営利活動法人です。

<http://www.cancernet.jp>

このスペースに 広告を掲載しませんか?

※広告の掲載のお申し込みは、以下の発刊月の 1ヶ月前までをお願い致します。
4月・7月・10月・1月の年 4 回発刊します。

※広告の掲載スペースにより金額が変わります。詳しくはお問い合わせ下さい。

NPO 法人キャンサーネットジャパン 季刊誌広告係まで / info@cancernet.jp